



A1 倶楽部

2025 新春号

【発行所】

さとう栄一
後援会総連合会

〒321-0954
栃木県宇都宮市元今泉5-1-22
TEL.028-662-3300
FAX.028-662-5501

住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA

はじめに、昨年11月の宇都宮市長選におきまして皆様には絶大なるご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございました。おかげさまで宇都宮市長として6期目を迎えることができました。引き続き市民の声に耳を傾け、本市発展のため全身全霊をかけて取り組んでまいります。

昨年はオリンピックの正式種目である「3x3」のバリエーション大会が5月3日から5日に日本で開催されました。8月3日には国内の都市として、初めて沖縄県うるま市と友好都市を締結し、調印式を行った後には、ふるさと宮まつりのパレードでお披露目しました。また、8月25日には、開業1周年を迎えたライトラインのバスデー・パーティーを開催し、3万8千人がご来場し祝ってくださいました。10月にはパリオリンピックでメダルを獲得した、本市出身の鏡優翔選手・松下知之選手の功績を称え、市民栄誉賞を授与するなど、盛り上がりを見せた1年でした。

本年も、市民の生命や暮らしを守ることを第一に、激甚化・頻発化する災害や物価高騰への対策など、喫緊の課題にしっかりと対応してまいります。そして、選挙戦で公約に掲げた市立小中学校の給食費の補助や天候に左右されない子どもの遊び場（ゆうあい広場）の増設・全天候型プールの市内5カ所への整備に向けて取り組みます。また、J-R宇都宮駅西口周辺地区において関係者と共に創り上げた将来イメージの実現に向けて、整備基本計画を策定するとともに、西側のライトライン2030年運行開始を目指してまいります。シニア世代には、外出支援事業の利用対象にタクシーを追加するための検討や、買い物難民にならないよう地域コミセンなどの移動販売（移動スパー）の実施と合わせた交流の場の整備など、すべての公約実現のために、全力で取り組んでまいります。

すべては今を生きる市民のため、未来を生きる子どもたちのために、誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができ、夢や希望がかなうまち「スーパースマートシティ」を実現してまいります。

宇都宮市長 佐藤栄一



お世話になりました
お疲れさまでした！

2024年11月施行
宇都宮市長選挙
開票結果

佐藤 栄一
当 85,860

毛塚	幹人	59,009
荒木	大樹	8,403
上田	憲一	7,358

この度の宇都宮市長選挙におきまして、皆様には様々な形でご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。結果は7時に当確となり、驚かれた方もおりましたが、スタッフも大慌てで結果報告会の準備に入り、佐藤栄一市長が到着し、遊説隊の皆様で胴上げして、当選の喜びを分かち合いました。

今回は10月に衆議院の解散総選挙となり、思うような運動が展開できない中でも、役員とスタッフは最初から緊張感を持ちつつ、最後まで一生懸命に頑張ってくださいました。佐藤市長も一人でも多くの方にお会いするため、朝早くから朝礼などをこなし、日中は公務、そして夕方から集会などをこなしてまいりました。特に今回から遊説隊長を受けていただいた増淵勝明隊長は右も左も分からない中で多くの若手スタッフを集め、頼もしい限りでした。

佐藤市長はこれまで、誰よりも宇都宮を愛し、宇都宮市民の幸せと宇都宮市の発展のために、身を粉にして20年間務めてまいりました。引き続き4年間も全国から注目され続ける宇都宮になると思います。

ご支援をいただきました、すべての方々に心から厚く御礼申し上げます。

ありがとうございました



佐藤栄一市長宇都宮市長選へ出馬表明
「まちづくり」に道筋をつける

昨年の6月27日に後援会総連合会の緊急役員会で「熟慮した結果、出馬を決定した」と述べ、6選に向け正式に出馬表明をしました。

佐藤市長は終了後の記者会見で、出馬の理由について「5期目で公約を達成し、市長職を辞する考えもあった」とした上で、後援会総連合会の役員や各種団体、さらには若手経営者の方々から、LRT開業後、宇都宮市は、日本はもとより世界からも注目される都市になり、今が一

番宇都宮市にとって大事な時で、市民からは駅西側延伸にも大きな期待が寄せられており、強く出馬を要請され決断しました。佐藤市長は「慢心やおこりがでないよう自分を戒め、5期まで同じ気持ちでやってきた。変わらぬ姿勢で市の発展に尽くしたい、そしてまちづくりはスピードが命、市民の利益や市の発展を考え、事業の完成、もしくは道筋をつける」と熱く語りました。

さとう栄一出陣式

11月10日(日)宇都宮市長選挙がスタート、護国神社で出陣式を行いました。ダブル選挙の福田知事にも駆け付けていただき、さとう栄一の当選に向けて、「LRTを含め宇都宮を盛り上げるため、必ず二人で当選しましょう」と気合を入れてくださいました。たくさんの方々にご参加をいただき7日間の選挙戦へ全力で「ガンバロウ」と全員で誓い合いました。

女性の集いに

サプライズゲスト

選挙戦告示日に女性の集いを開催いたしました。会場は超満席の約400名にご参加いただき、参議院議員の片山さつき先生を特別来賓としてお招きしたところ、突然、参議院議員の橋本聖子先生も駆け付けてくださり、会場を沸かせました。佐藤市長の挨拶に感動して涙を流す方もおりました。ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。

佐藤栄一市長の主な取組

令和6(2024)年度

★保育料無償化の第2子への拡大

これまで第3子以降だった保育料の無償化を令和6年4月から第2子以降に拡大しました。



★東京圏に対する移住定住プロモーション【第2弾】

テレビCM等を活用した東京圏に対する移住定住プロモーションの第2弾を実施し、本市の魅力や強みを大々的にPRしました。



★共働き子育てしやすい街ランキング 2年連続全国2位

認可保育所への入りやすさや認可保育所の園庭保育率の高さ、通年の待機児童ゼロ達成、学童保育の充実など、全国トップレベルの子育て環境が評価されました。



★FIBA3x3

パリオリンピック予選大会の開催

3人制バスケットボール「3x3」のパリ2024オリンピック予選大会が5月3日～5日に日本で初めて本市で開催され、前週のFIBA3x3ワールドツアー宇都宮オープンと合わせて経済効果は20億円超となりました。



★ライトライン開業1周年に 3万人超が来場

開業から1周年を迎えたライトライン、8月に「LIGHTLINE BIRTHDAY PARTY」を開催し約3万8,000人の方が来場し、ライトラインの1才の誕生日を祝福いただきました。



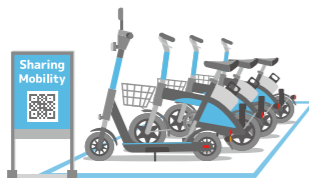
★沖縄県うるま市と 国内都市初となる友好都市を提携

国内の都市として初めて沖縄県うるま市と友好都市を提携しました。今後、幅広い分野で連携・交流事業を実施してまいります。



★LUUP (ループ) 市内サービスエリア拡大

10月から、ポート(貸出返却場所)数を約100カ所・車両数を約350台に増設。いつでも使いたい時に気軽に利用できるよう、今後も順次拡大してまいります。



★LRT平石停留場の駐車場を55台から 約190台へ増設

平石停留場の駐車場は55台分でしたが、LRTを利用すると無料になることで、市民の方々からたくさんの方の要望があり、今では約190台の大型駐車場へ変わりました。



★バスとバスの

割引制度がスタート

7月に、totraを使ってバスからバスへ乗り継ぐと、2乗車目の運賃から200円割引される乗継割引制度を導入しました。



令和7(2025)年度 すべての公約実現に向けて

★地震や風水害など頻発する災害への備えを強化

河川の溢水被害の効果的な解消を図るため、河川・排水施設の整備など、治水・雨水対策を総合的に推進。また、避難所環境の向上を図るため、自走式水洗トイレカーを導入します。



★全天候型子どもの遊び場(ゆうあいひろば)の増設

身近な地域で安心して遊べる全天候型の遊び場の拡充に向けた検討を進めます。



★市立小中学校と市内の保育施設等の給食費を支援

市立小中学校と市内の保育施設等の給食費を所得制限なく市単独で4月から1人あたり毎月2,000円を補助します。



★全天候型プールの市内5カ所整備への取組

通年利用が可能な屋内プールの5カ所整備に向け、まずは東部地域における屋内プールの基本設計を実施します。



★女性活躍推進部署を新設

女性がさらに活躍できる社会を実現するため、女性活躍推進課を設置し、民間から女性活躍担当専門員を任用。女性が働きやすく職場復帰しやすい環境づくりに向けて市内企業を支援、また女性特有の健康課題をテクノロジーで解決する「フェムテック」の活用を推進します。



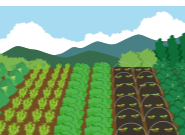
★宇都宮プレックス新アリーナ整備の早期実現に向けた支援

宇都宮プレックスのBプレミア参入、観戦環境の向上を図るため、現プレックスアリーナを改修するとともに、引き続き、新アリーナ整備に向け宇都宮プレックスを支援します。



★農業を守り、食の安心安全へ

グリーン農業の推進に向け、農業から廃ビニールの排出を抑制するため、生分解性マルチ・多年張り被覆資材導入に係る支援制度を創設します。



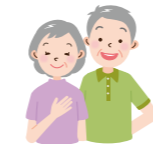
★地域コミセンなどに 移動販売と交流の場を整備

高齢者等の買い物支援と交流機会の創出に向けた移動販売の導入・拡充、移動販売と合わせた交流事業を実施します。



★自治会活性化に向けた支援を充実

「地域で支え合う自治会条例」の制定に合わせ、高齢者等の負担軽減や自治会活動の効率化に向けた助成など、全国でも類を見ない手厚い支援策を実施します。

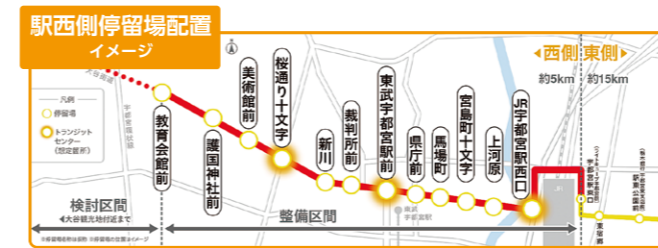


★中央卸売市場に「賑わいエリア」を整備

人と食が集う新たな賑わい交流拠点「賑わいエリア」が2026年3月オープン予定です。



JR宇都宮駅東側の勢いをさらに加速して西側へ



昨年、開業1周年を迎えたライトライン、当初の予測をはるかに上回り1年間で475万人の利用がありました。沿線の地価上昇等の経済効果の発現、さらには外出率や交流機会も増加し健康増進にもつながっています。西側への延伸に大きな期待が高まっており、2030年の開業を目標として、整備を加速してまいります。



ライトライン西側 2030年運行開始へ



「県内初の「一億ション」誕生」 JR宇都宮駅西口周辺地区の再整備に向けて、2050年ごろの将来イメージ図を公表しました。「まちなか」駅を中心とした「人との交流空間」を目指し、誰にとっても使いやすい心地の良い、ゆったりと過ごせるような空間をコンセプトに描いています。今後は、将来像の共有を図りながら、官民一体となったまちづくりを、より一層加速してまいります。

「生まれ変わるJR宇都宮駅西口へ」 JR宇都宮駅西口周辺地区の再整備に向けて、2050年ごろの将来イメージ図を公表しました。「まちなか」駅を中心とした「人との交流空間」を目指し、誰にとっても使いやすい心地の良い、ゆったりと過ごせるような空間をコンセプトに描いています。今後は、将来像の共有を図りながら、官民一体となったまちづくりを、より一層加速してまいります。

生まれ変わるJR宇都宮駅西口へ

「丸井宇都宮店跡に 県内初のホテルブランド」 かつてデパートの「丸井宇都宮店」などが出店していた池上町の中村第一ビルが、本市において初めて優良建築物等整備事業を活用し、県内初のホテルブランドが入る施設に建て替えられる計画が示されました。パルコ跡とともに、官民連携による中心市街地のリニューアルに取り組みしてまいります。

「パルコ跡の活用を 本市も支援」 旧宇都宮パルコビルをスポーツ用品販売大手のゼビオホールディングス株式会社が取得しました。本社機能の移転や、地域活性化の拠点としての活用が予定されています。ゼビオ社は、本市とスポーツを通じたまちづくりなどに関する連携協定を2023年3月に締結しており、さらに連携を強化し、官民連携による「スポーツを活用したまちづくり」や、「中心部のまちづくり」を加速させてまいります。

「ライトラインの東武宇都宮線への乗り入れについて検討を進めるため、栃木県や東武鉄道と具体的な協議を始めたところであり、併せて、ライトラインと東武鉄道との効果的な連携に向け、主要な乗り継ぎ動線となる「東武馬車道通り」における居心地の良い空間づくりなどの検討も進めてまいります。

「ライトライン・東武宇都宮線への乗り入れ検討」 ライトラインの東武宇都宮線への乗り入れについて検討を進めるため、栃木県や東武鉄道と具体的な協議を始めたところであり、併せて、ライトラインと東武鉄道との効果的な連携に向け、主要な乗り継ぎ動線となる「東武馬車道通り」における居心地の良い空間づくりなどの検討も進めてまいります。

ライトライン・東武宇都宮線への乗り入れ検討

「新たな産業団地を整備」 交通アクセス性に優れた「(仮称)インターパーク東地区」と周辺環境との相乗効果が見込める「(仮称)宇都宮工業団地東地区」の2地区を、新産業団地の事業候補地として選定し、権利者の皆様の御意向を確認してまいります。今後、御意向確認の結果等を踏まえ、事業区域などを決定し、地域経済の活性化に寄与する企業誘致の受け皿となる新産業団地整備に取り組みしてまいります。

「県内基準地価は駅東口がトップ」 2024年分の路線価が公表され、5年連続でJR宇都宮駅東口駅前ロータリーが県内トップとなりました。ライトラインの開業で利便性が向上し、現在も複数のマンションが建設中で、人口増やさらなる地価の上昇なども期待されます。西側も上昇傾向です。

「アークタウン宇都宮」来年開業 2026年3月の開園を目指している東部総合公園の愛称が「アークタウン宇都宮」に決まりました。愛称の投票は昨年の11月から12月にかけて行われ、投票者の約3割が20代以下と若者の関心の高さが表れました。国内有数の規模を誇る全天候型のスケートパークを備える総合公園として、若者だけでなく高齢者がベタタナなどでもできる多目的な施設を目指してまいります。

「アークタウン宇都宮」来年開業 2026年3月の開園を目指している東部総合公園の愛称が「アークタウン宇都宮」に決まりました。愛称の投票は昨年の11月から12月にかけて行われ、投票者の約3割が20代以下と若者の関心の高さが表れました。国内有数の規模を誇る全天候型のスケートパークを備える総合公園として、若者だけでなく高齢者がベタタナなどでもできる多目的な施設を目指してまいります。

駅東側のさらなる発展へ